

全国健康保険協会京都支部 統計年報 (令和元年度)



全国健康保険協会 京都支部
協会けんぽ

令和元年度 協会けんぽ京都支部概況

令和元年度の健康保険料率は、全国平均が10.00%と据え置かれた一方で、京都支部では平成30年度より**0.01**ポイント高い、**10.03%**となりました。

健康保険料率については、協会けんぽの財政状況を背景に、将来の急激な健康保険料率の上昇を抑制するために、中長期的な観点から設定することとしており、全国平均保険料率は10.00%を維持することとなりました。

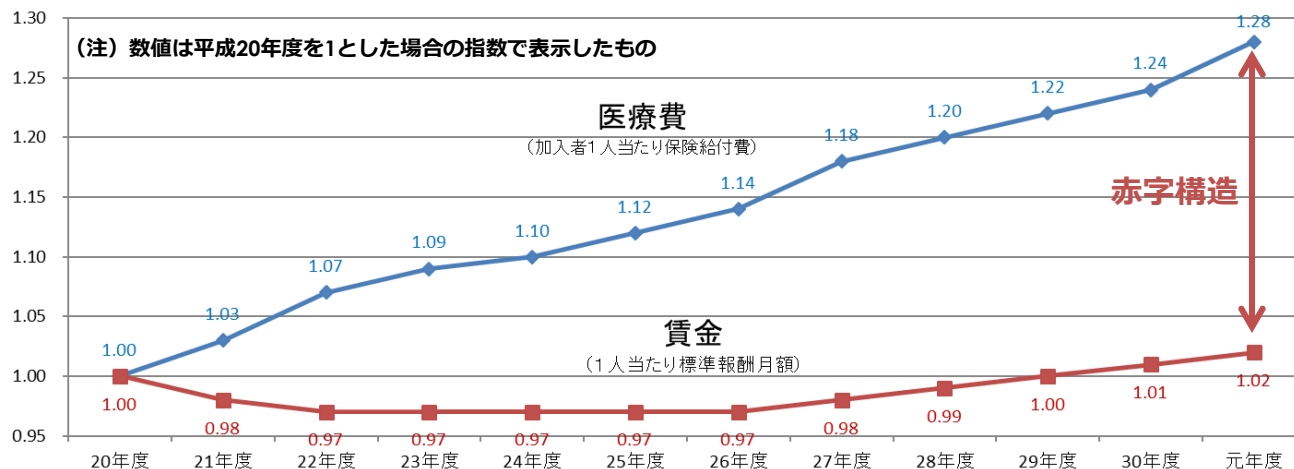
全国平均保険料率10.00%を前提として、京都支部加入者の令和元年度の医療費（年齢調整後）の見込みと保険料収入（所得調整後）の見込みと、平成29年度の医療費及び保険料収入の実績による清算等から京都支部の健康保険料率を算定した結果、10.03%となりました。

京都支部においては、保険料収入のベースとなる令和元年度の平均標準報酬月額**は0.8%の増加**となりました。

対して、支出の6割を占める保険給付費は、前年度比**4.9%の増加**（平成30年度：1,336億400万円、令和元年度：1,402億2千400万円）となっており、医療費の伸びが賃金の伸びを上回る状況が続いています。

このように財政状況が厳しいなか、協会けんぽでは、保険料の上昇を抑えるため、健診・保健指導、レセプト点検の取り組みを強化するとともに、ジェネリック医薬品の使用促進など医療費適正化に取り組んでいます。

協会けんぽの保険財政の傾向（対平成20年度指数）

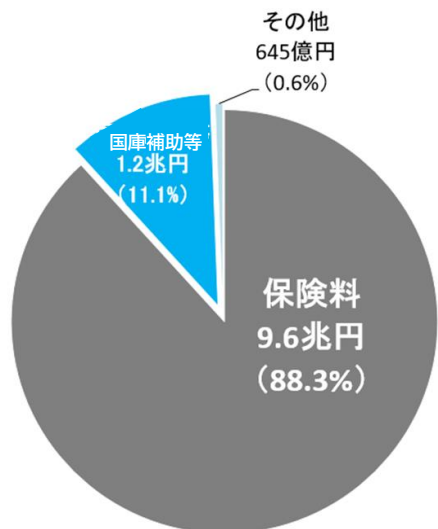


近年、医療費（1人当たり保険給付費）の伸びが賃金（1人当たり標準報酬）の伸びを上回り、協会けんぽの保険財政は赤字構造となっています。

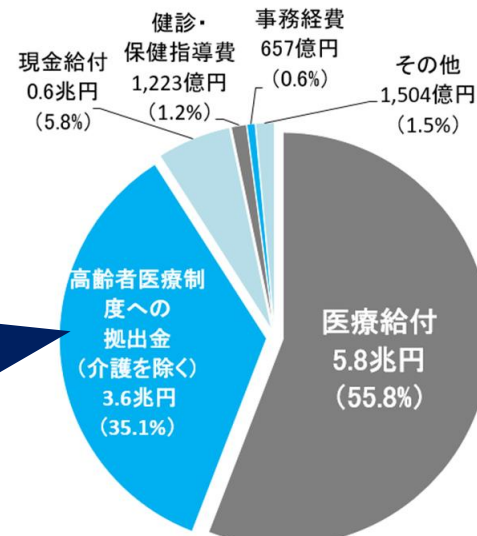
協会けんぽの財政構造（令和元年度決算）

協会けんぽ全体の支出は約10.3兆円ですが、その約4割、約3.6兆円が高齢者医療制度への拠出金に充てられています。

収入 10兆8,697億円

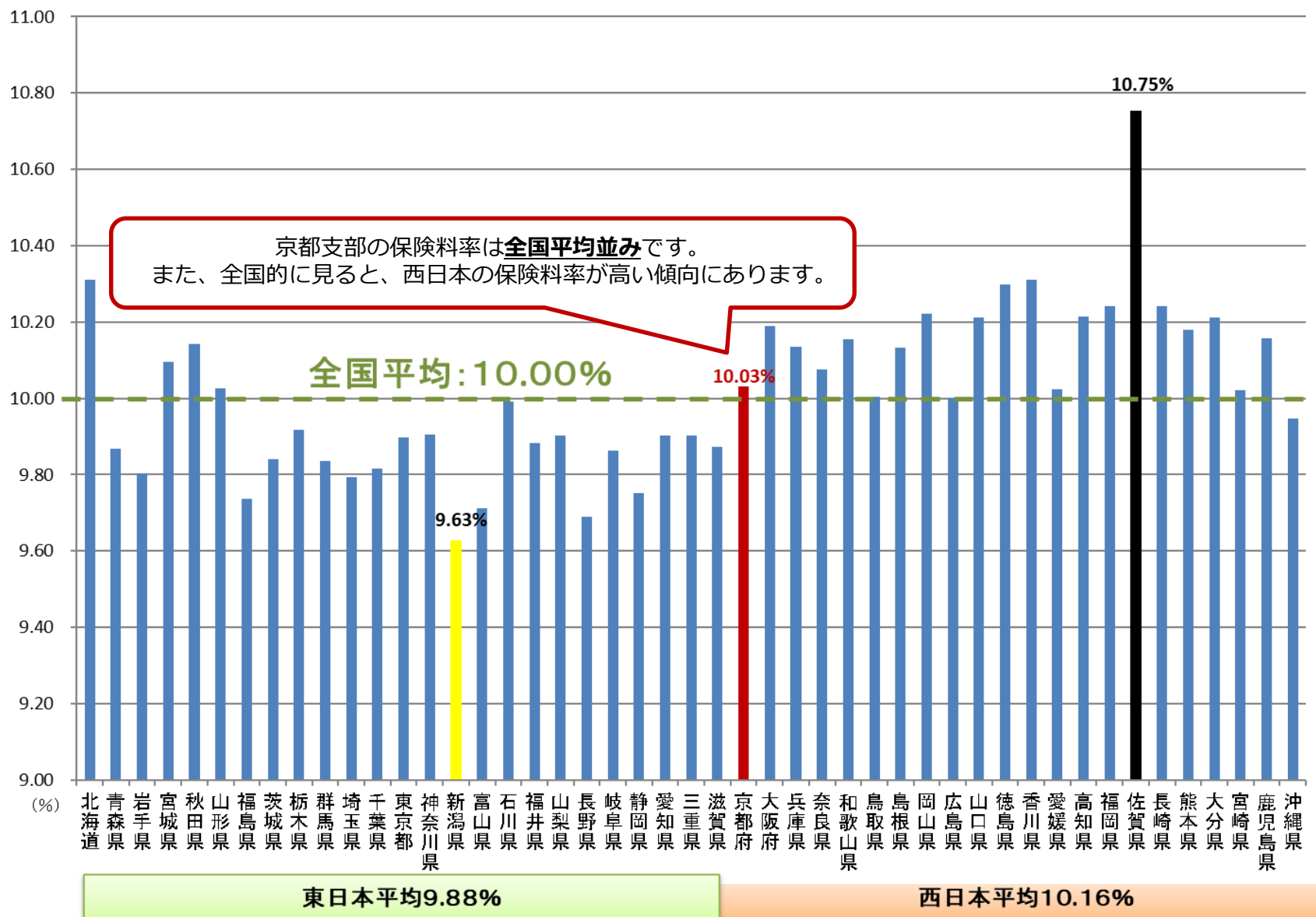


支出 10兆3,298億円



支出の約4割が高齢者医療制度への拠出金に充てられています。

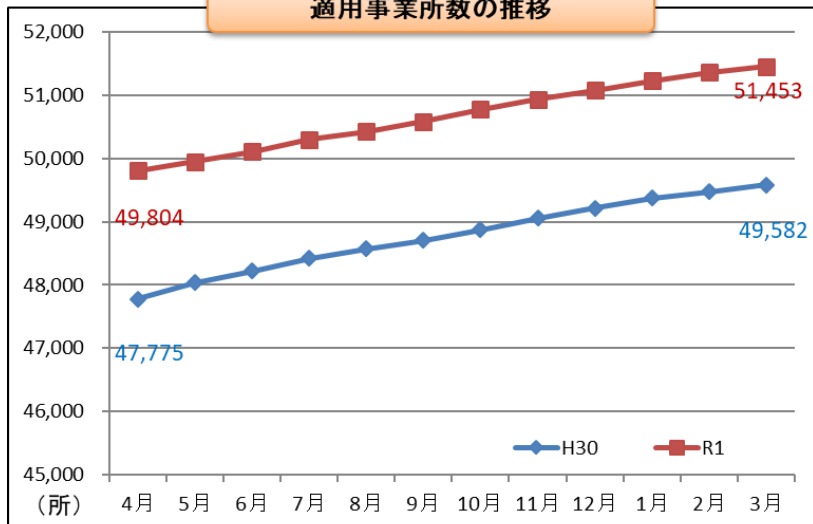
令和元年度の都道府県別の協会けんぽ保険料率



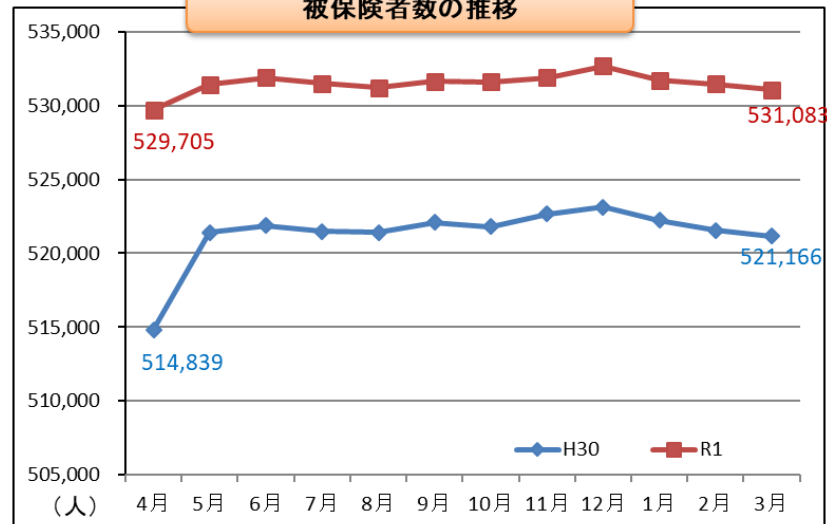
京都支部における適用事業所数・被保険者数・被扶養者数・任意継続被保険者数の状況（年度比較）

京都支部においては前年度に比べ、適用事業所数の増加に伴い、被保険者数が令和2年3月末で9,917人増加しました。一方、被扶養者数は3,770人、任意継続被保険者数は361人減少しました。

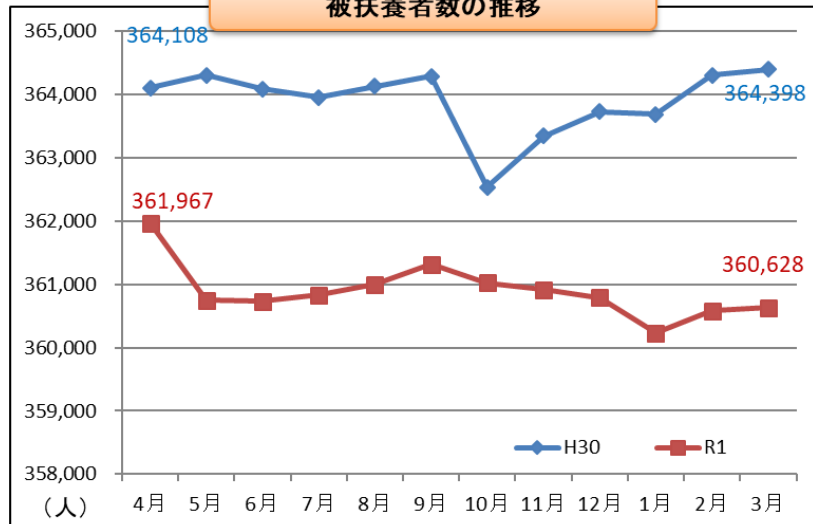
適用事業所数の推移



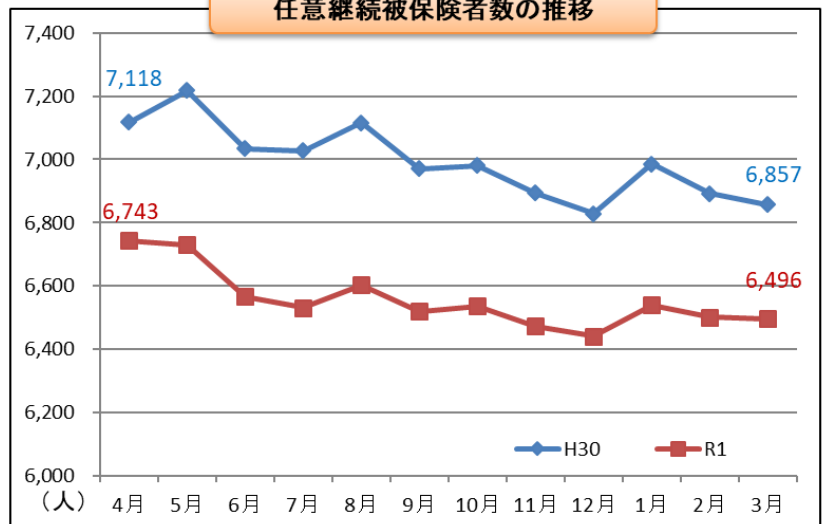
被保険者数の推移



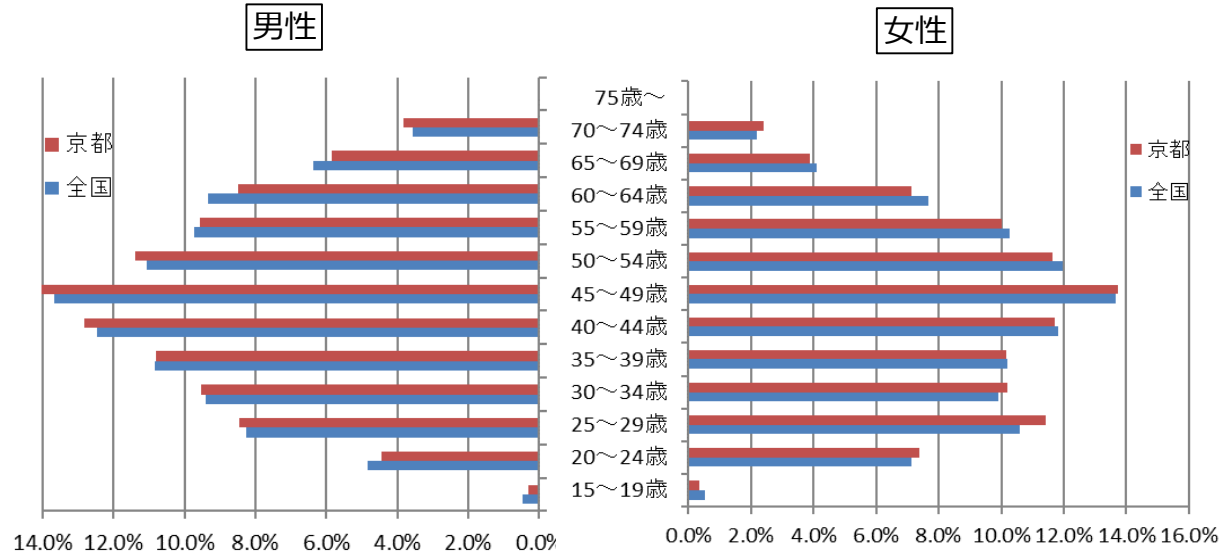
被扶養者数の推移



任意継続被保険者数の推移

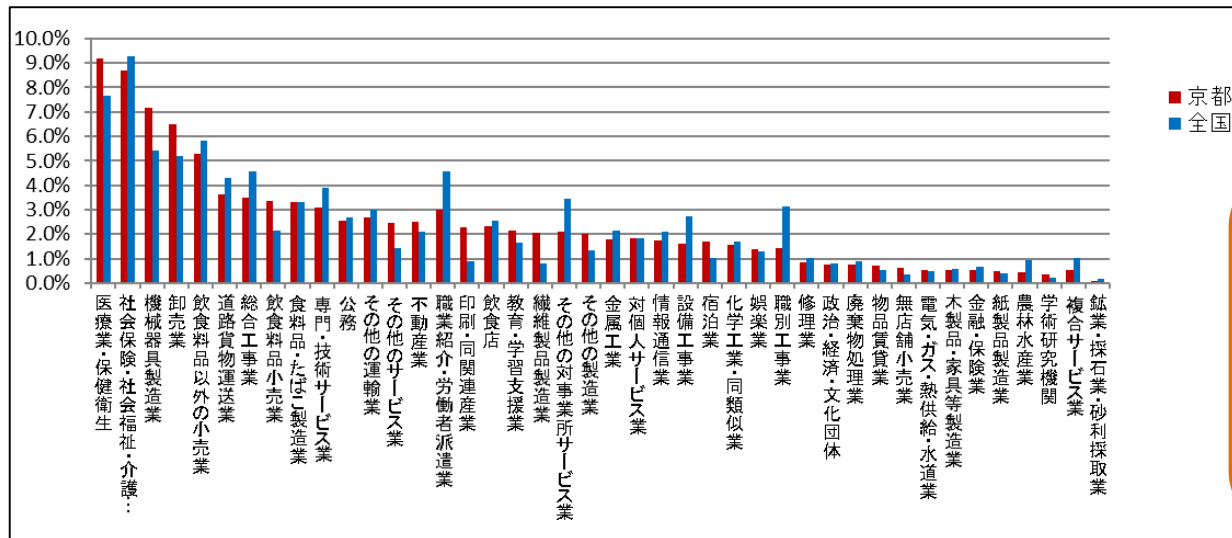


年齢階級別男女別被保険者割合（京都支部と全国と比較）



京都支部においては、男女ともに45歳～49歳の割合が最も高くなっています。

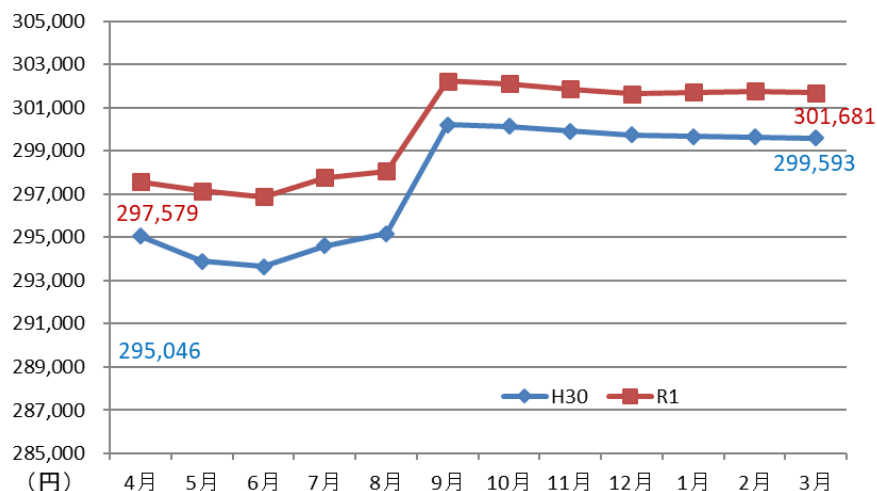
業態別被保険者割合（京都支部と全国と比較）



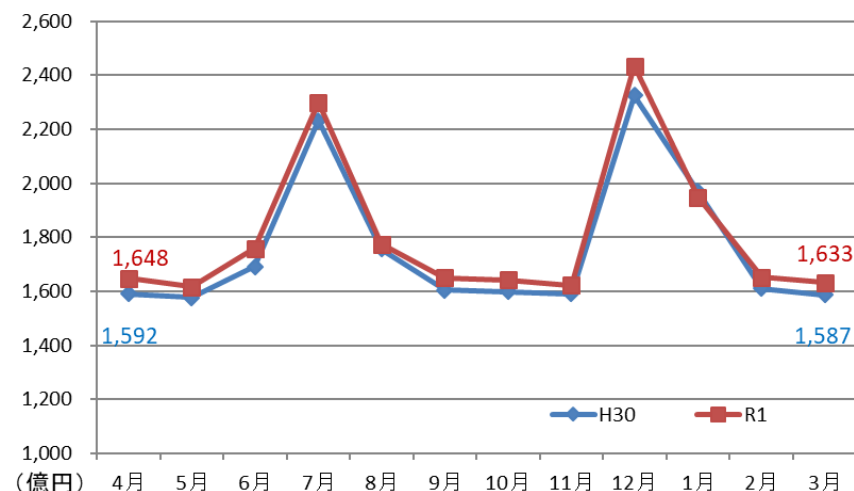
京都支部では、医療業・保健衛生の割合が最も高く、社会保険・社会福祉・介護事業、機械器具製造業、卸売業と続きます。また、全国では、社会保険・社会福祉・介護事業、次いで医療業・保健衛生の割合が高くなっています。

京都支部における標準報酬月額・標準総報酬額の状況（年度比較・全国比較）

平均標準報酬月額の推移

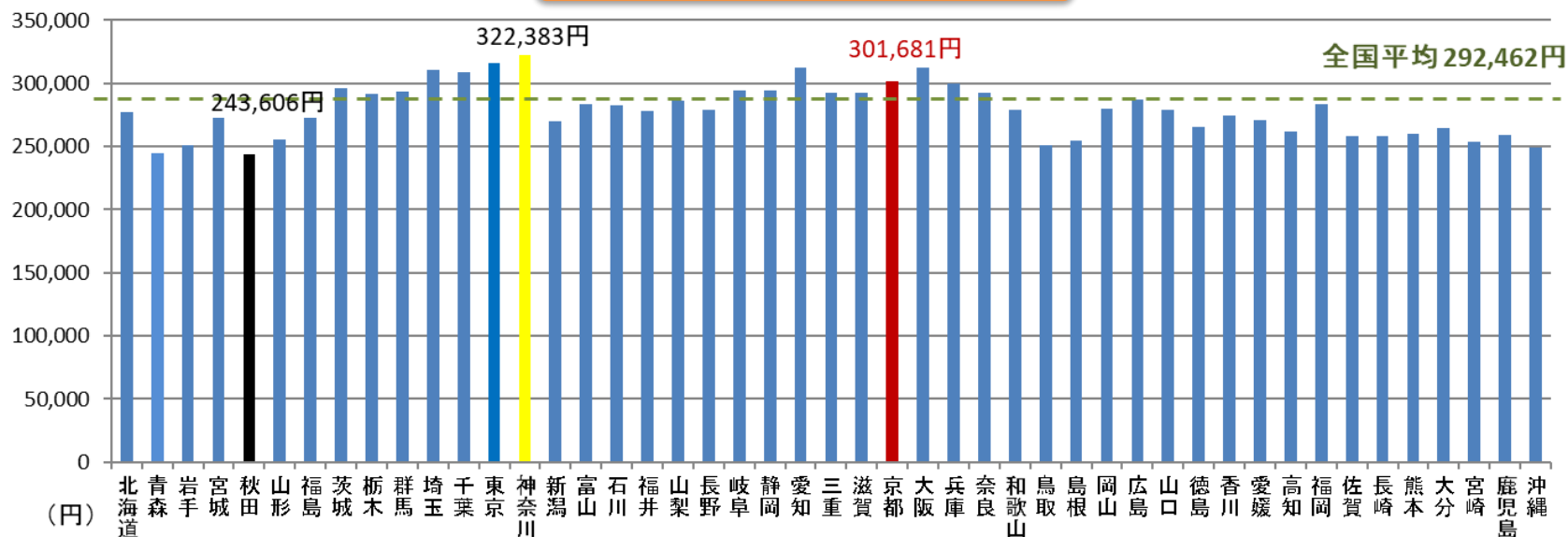


標準総報酬額の推移

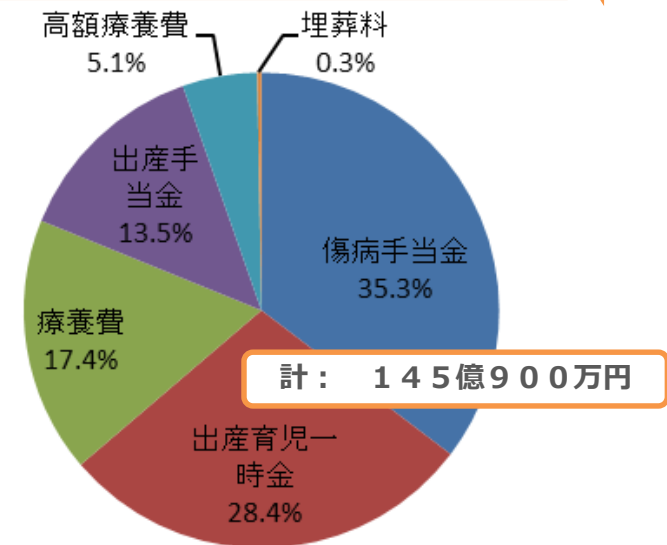
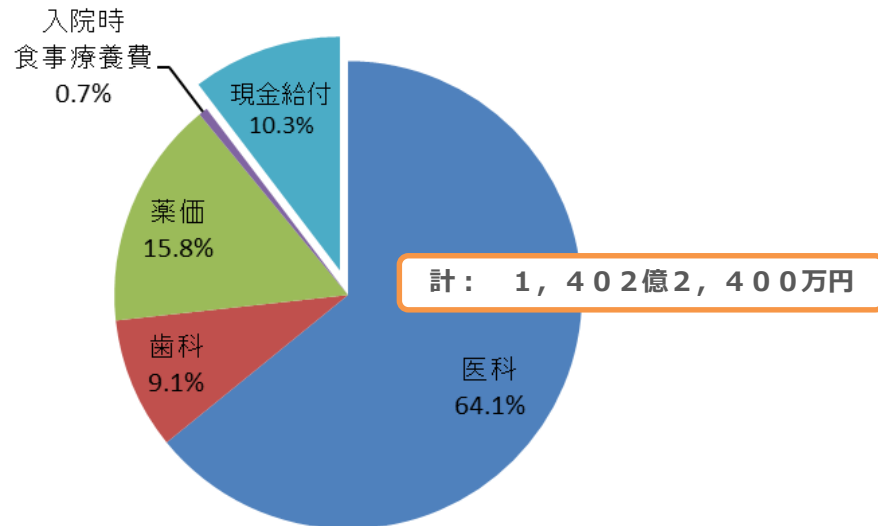
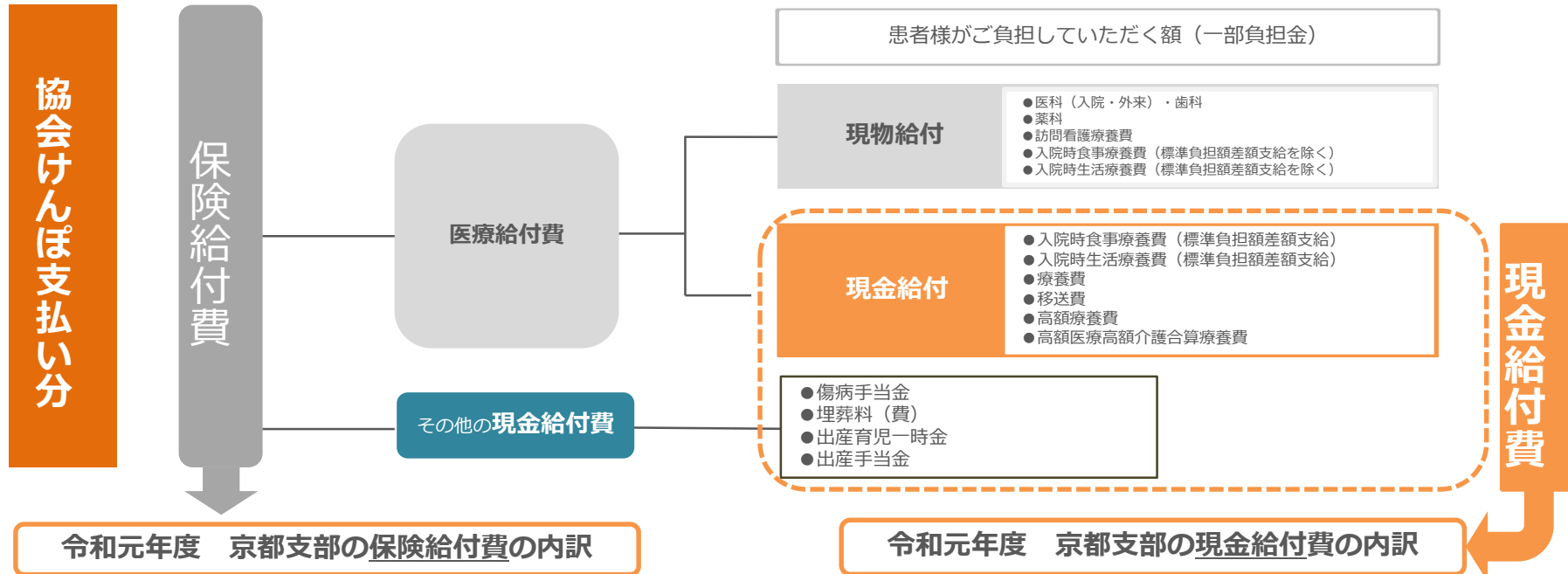


都道府県別の平均標準報酬月額

令和元年度末現在



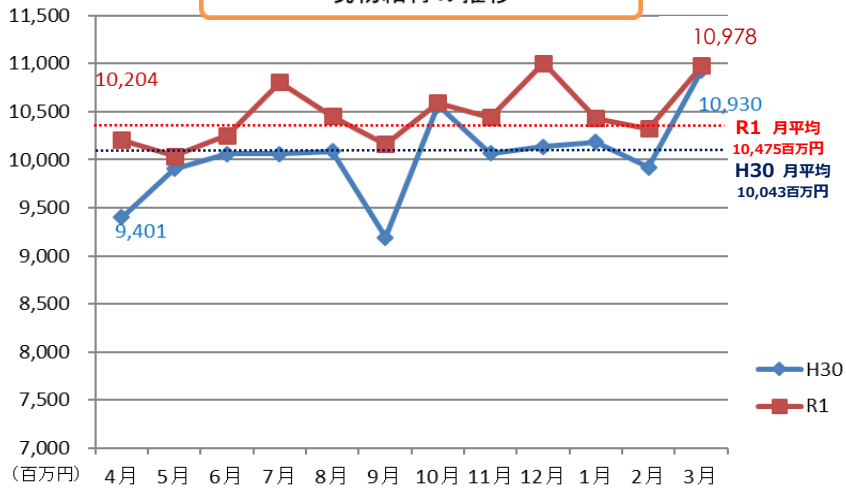
保険給付費（現物給付・現金給付費）の内訳



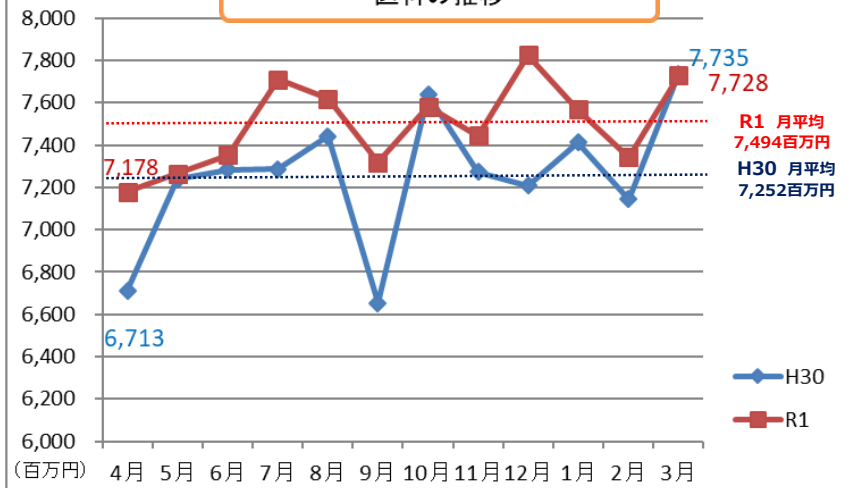
京都支部における現物給付の状況（年度比較・金額ベース）

健康保険の加入者の方が、病気やけがで医療機関にかかったとき、医療費の一部を負担することで、診療・治療などの医療サービス（現物）の給付が受けられます。これを現物給付といいます。現物給付費は、年々増加傾向にあります。

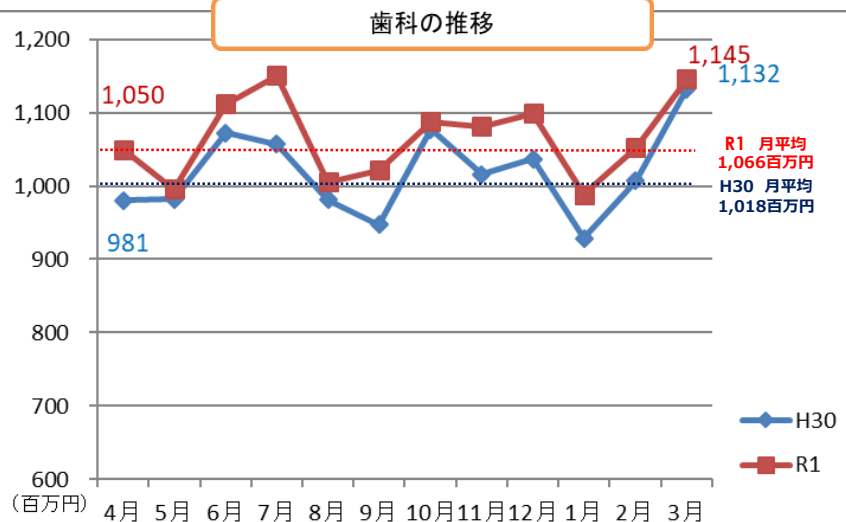
現物給付の推移



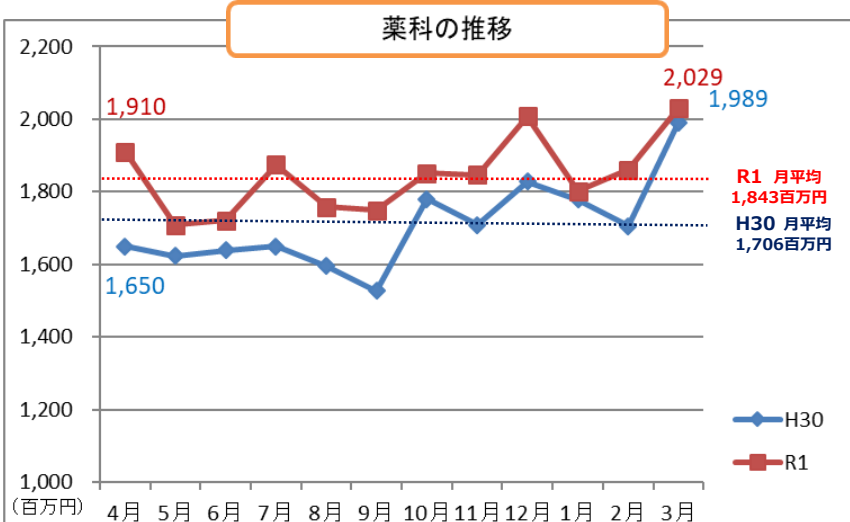
内科の推移



歯科の推移



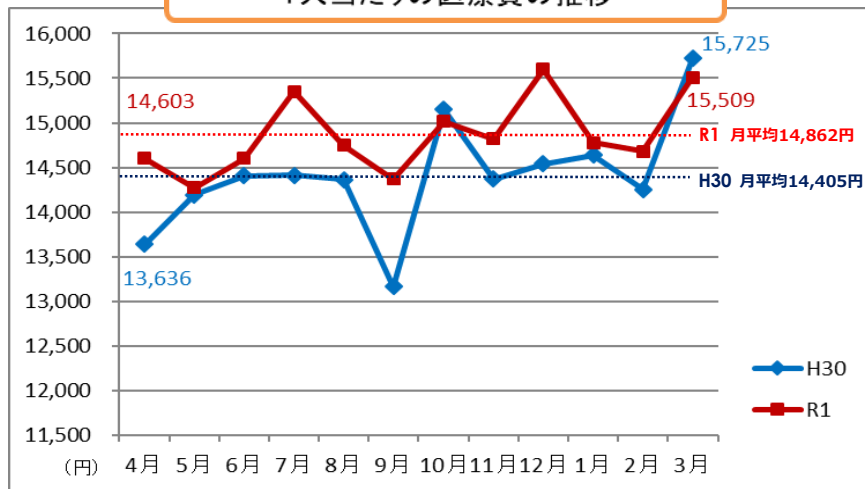
薬科の推移



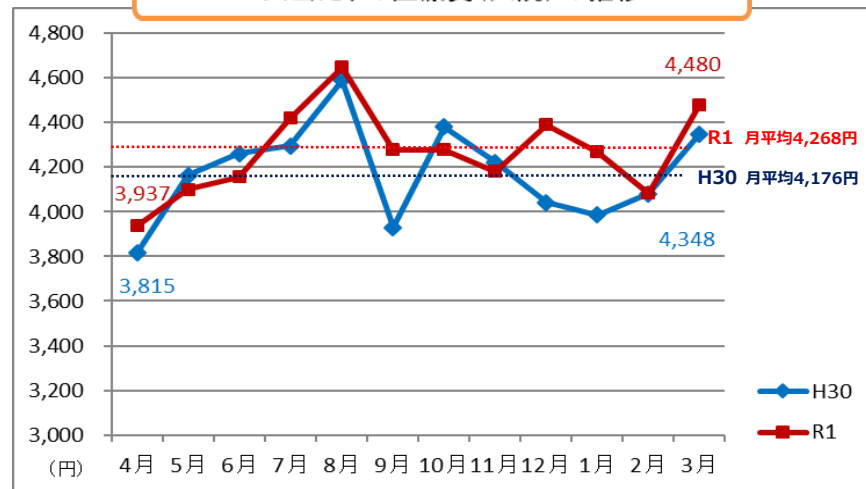
京都支部における加入者1人あたりの医療費（年度比較・金額ベース）

京都支部の加入者1人当たりの月平均医療費は、すべての項目において前年度を上回っています。

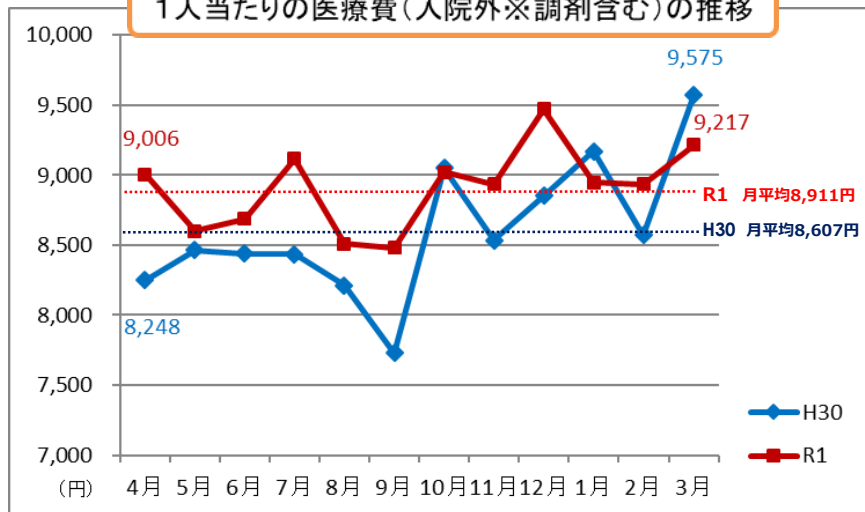
1人当たりの医療費の推移



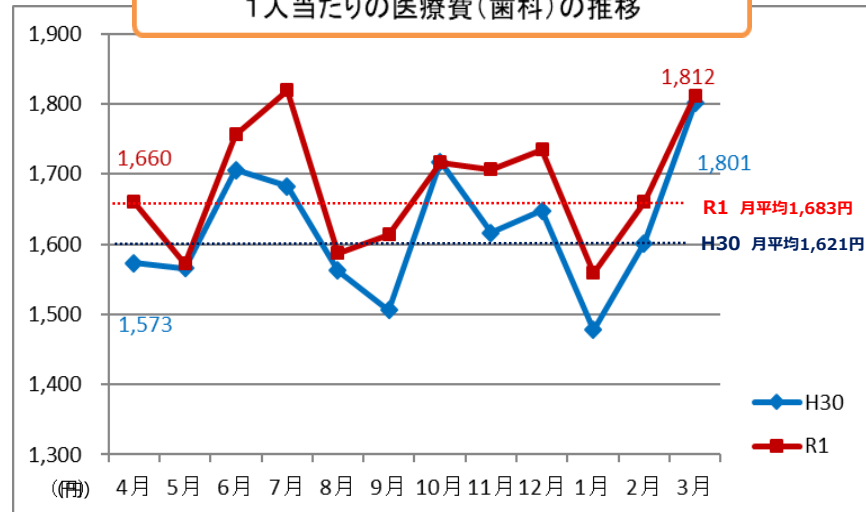
1人当たりの医療費(入院)の推移



1人当たりの医療費(入院外※調剤含む)の推移



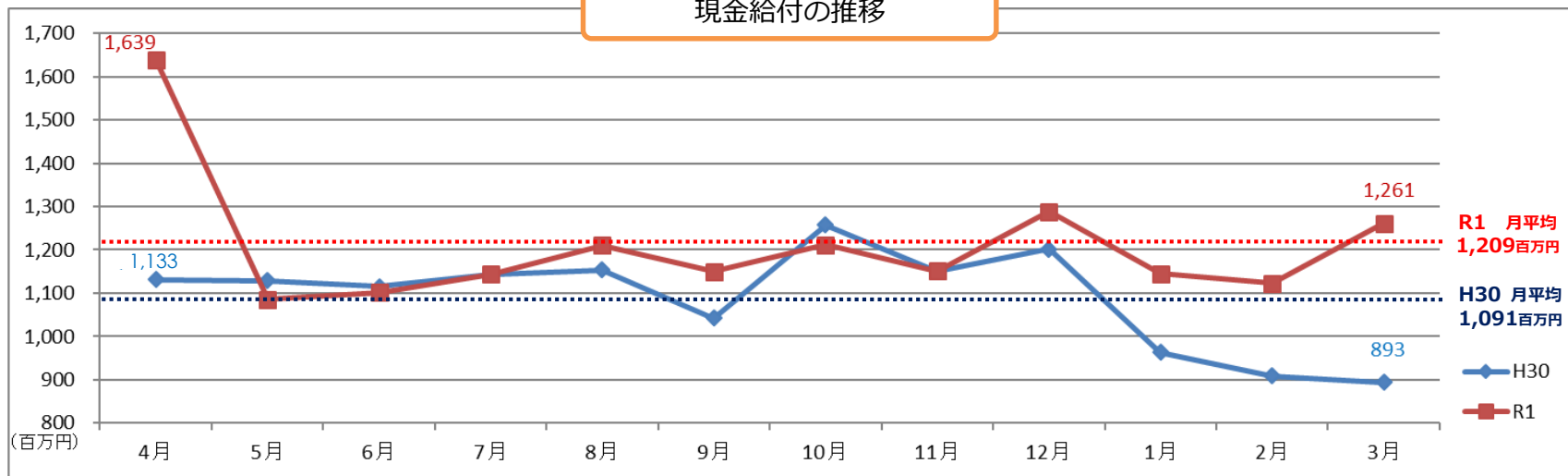
1人当たりの医療費(歯科)の推移



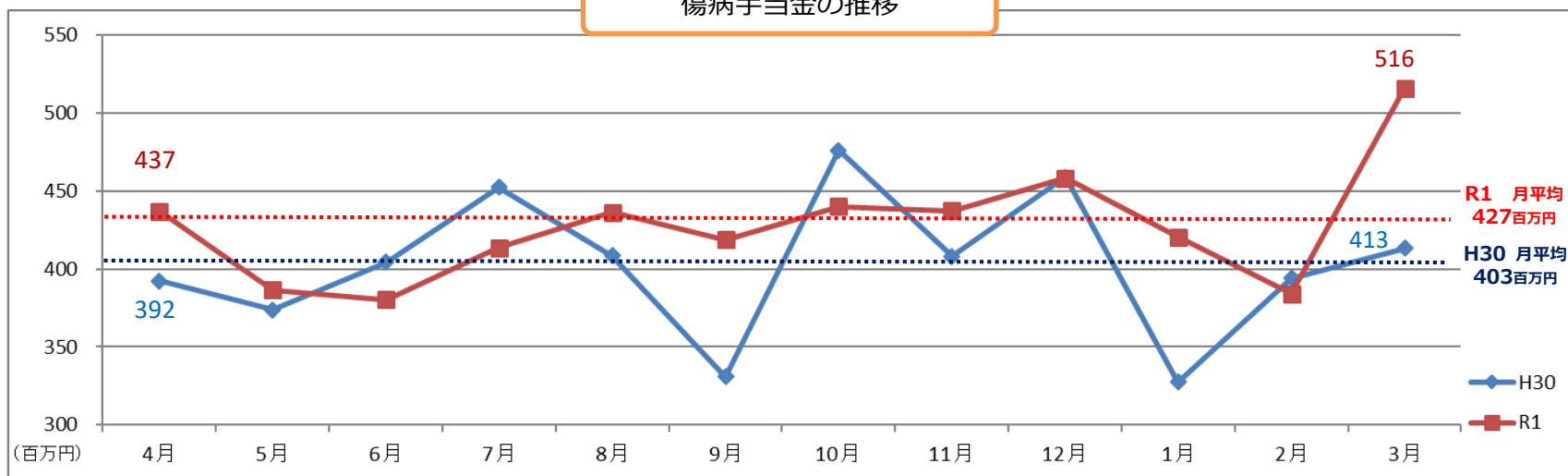
京都支部における現金給付費の状況（年度比較・金額ベース）

京都支部の現金給付の状況は前年度より増加しています。また、中でも傷病手当金は増加しています。

現金給付の推移



傷病手当金の推移



生活習慣病予防健診・特定健康診査の健診実施状況（年度比較）

対象者	被保険者（35歳以上75歳未満の方）	被扶養者（40歳以上75歳未満の方）
健診	生活習慣病予防健診	特定健康診査
保健指導	協会けんぽもしくは医療機関・専門機関の 保健師・管理栄養士が実施（ 無料 ）	協会けんぽもしくは府内の契約機関にて 実施（ 一部受診者負担あり ） （対象者には利用券を送付）

生活習慣病予防健診（被保険者）

（人）

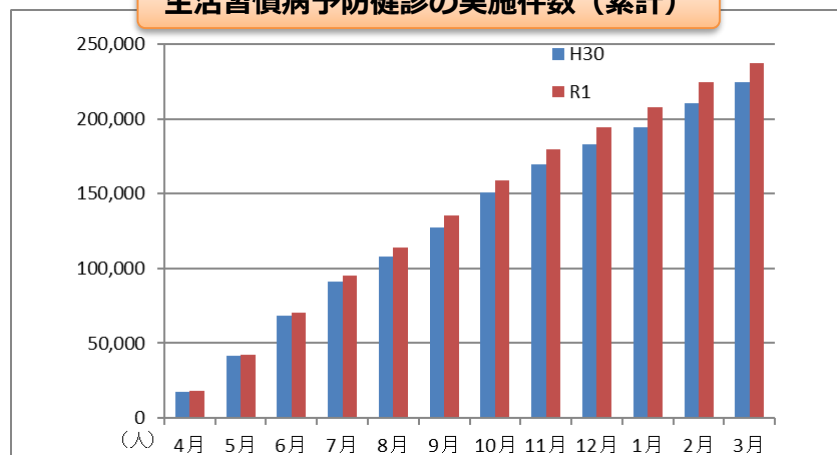
被保険者	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度累計	対前年比
各月	H30	17,307	24,431	26,854	22,468	17,174	19,217	23,273	19,144	12,882	11,668	15,803	14,506	224,727	5.7% ↑
	R1	18,052	24,373	28,052	24,967	18,360	21,909	23,138	20,513	14,830	13,552	16,522	13,181	237,449	

特定健康診査（被扶養者）

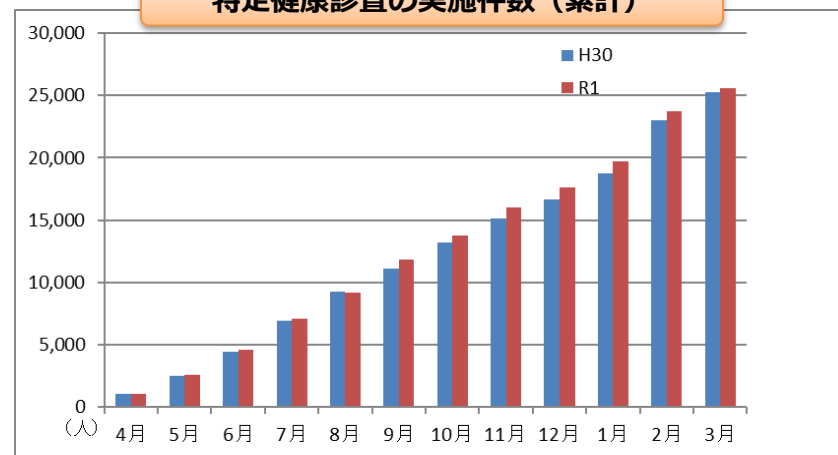
（人）

被扶養者	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度累計	対前年比
各月	H30	1,026	1,468	1,975	2,446	2,382	1,831	2,071	1,971	1,495	2,048	4,329	2,200	25,242	1.4% ↑
	R1	1,023	1,536	2,045	2,507	2,045	2,665	1,980	2,177	1,643	2,079	4,006	1,895	25,601	

生活習慣病予防健診の実施件数（累計）



特定健康診査の実施件数（累計）



特定保健指導について

●特定保健指導とは？

生活習慣病予防健診の結果、メタボリックシンドロームの危険因子の数に応じて、生活習慣の改善が必要な方に行われる保健指導のことをいいます。『積極的支援』と『動機づけ支援』の2つのタイプの特定保健指導があります。

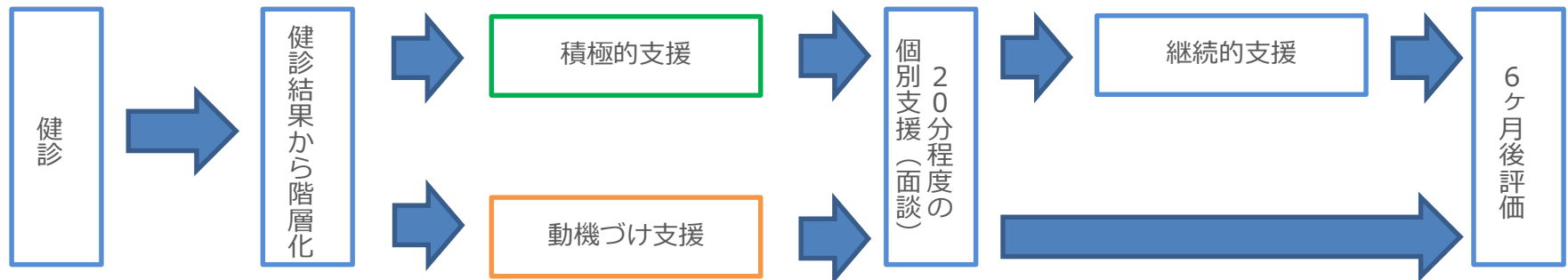
①積極的支援 (腹囲男性85cm・女性90cm以上)かつメタボリックシンドロームの危険因子(血糖・脂質・血圧・喫煙)の数が2つ以上ある方
(BMI25以上)かつメタボリックシンドロームの危険因子(血糖・脂質・血圧・喫煙)の数が3つ以上ある方

個別面談または、グループ学習で保健師等と一緒に生活習慣の目標を設定した後、3～6ヶ月間継続的に、個別面談・電話・メール・手紙・FAXなどにより、その実行をお手伝いいたします。

②動機付け支援 (腹囲男性85cm・女性90cm以上)かつメタボリックシンドロームの危険因子(血糖・脂質・血圧)の数が1つある方
(BMI25以上)かつメタボリックシンドロームの危険因子(血糖・脂質・血圧・喫煙)の数が1つ～2つある方

原則として1回、個別面談または、グループ学習により、保健師等と一緒に生活習慣を振り返り、ライフスタイルに合わせた生活習慣の目標の設定や実行をお手伝いいたします。

●特定保健指導の流れ



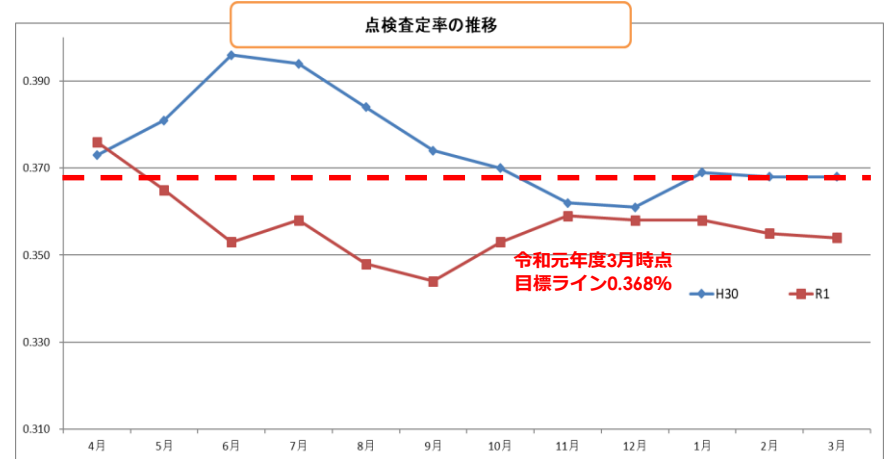
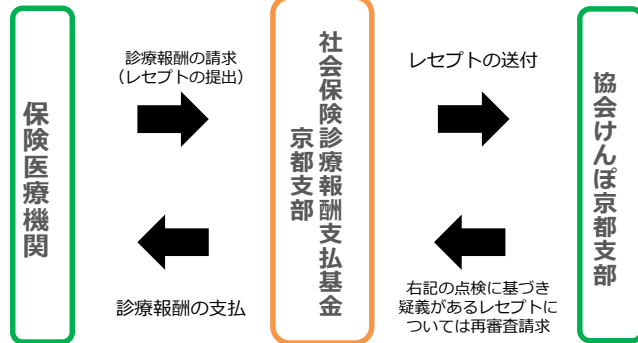
●特定保健指導の6ヶ月後評価実施状況

	積極的支援(実施率)	動機付け支援(実施率)	合計(実施率)
H30年度	1,884(8.1%)	2,940(15.8%)	4,824(11.5%)
R1年度	3,046(12.2%)	4,052(20.2%)	7,098(15.8%)

レセプト点検査定率（協会けんぽと診療報酬支払基金の合算査定率）

査定率とは...総医療費に占める査定額の割合

査定額とは...レセプトの内容点検により、保険診療とは認められなかった額

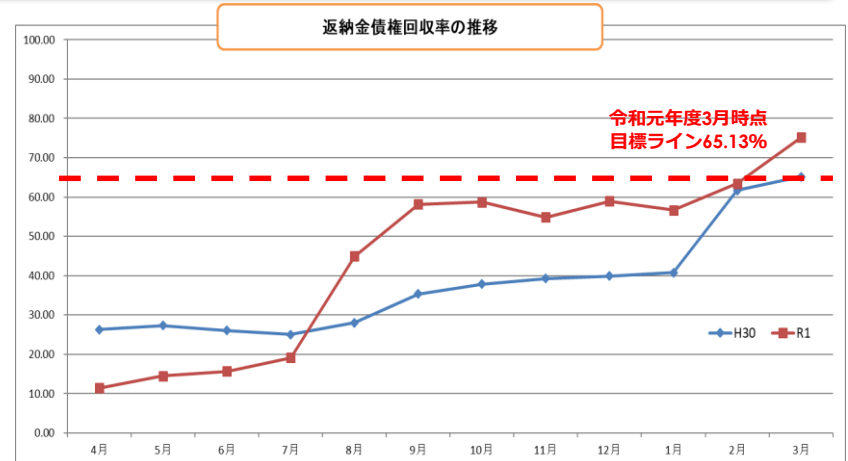


項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
点検査定率	H30	0.373	0.381	0.396	0.394	0.384	0.374	0.370	0.362	0.361	0.369	0.368	0.368
	R1	0.376	0.365	0.353	0.358	0.348	0.344	0.353	0.359	0.358	0.358	0.355	0.354

無資格受診の返納金債権回収率（年度比較）

無資格受診の返納金債権とは

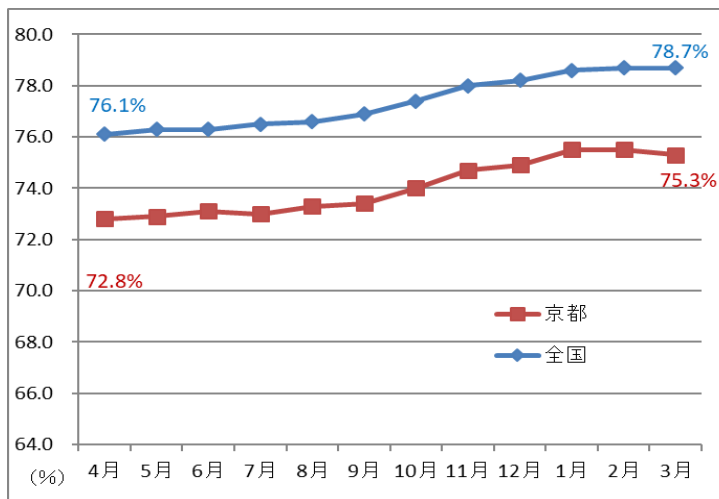
健康保険の資格喪失後に、無効になった保険証で医療機関受診することにより発生する不当利得返還金



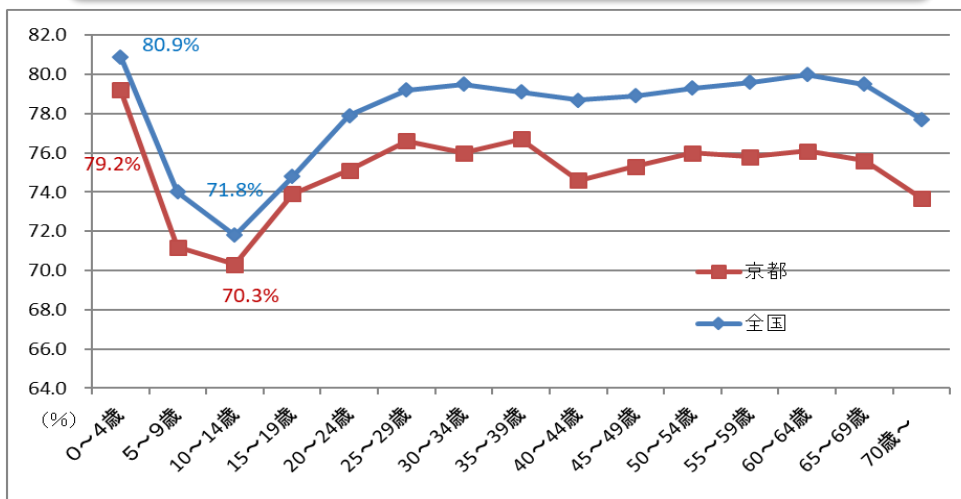
項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
無資格受診にかかる 返納金回収率	H30	26.33	27.32	26.06	25.04	28.04	35.38	37.84	39.30	39.89	40.81	61.70	65.13
	R1	11.40	14.48	15.71	19.18	44.97	58.13	58.74	54.90	58.94	56.66	63.45	75.12

ジェネリック医薬品の使用状況（全国比較）

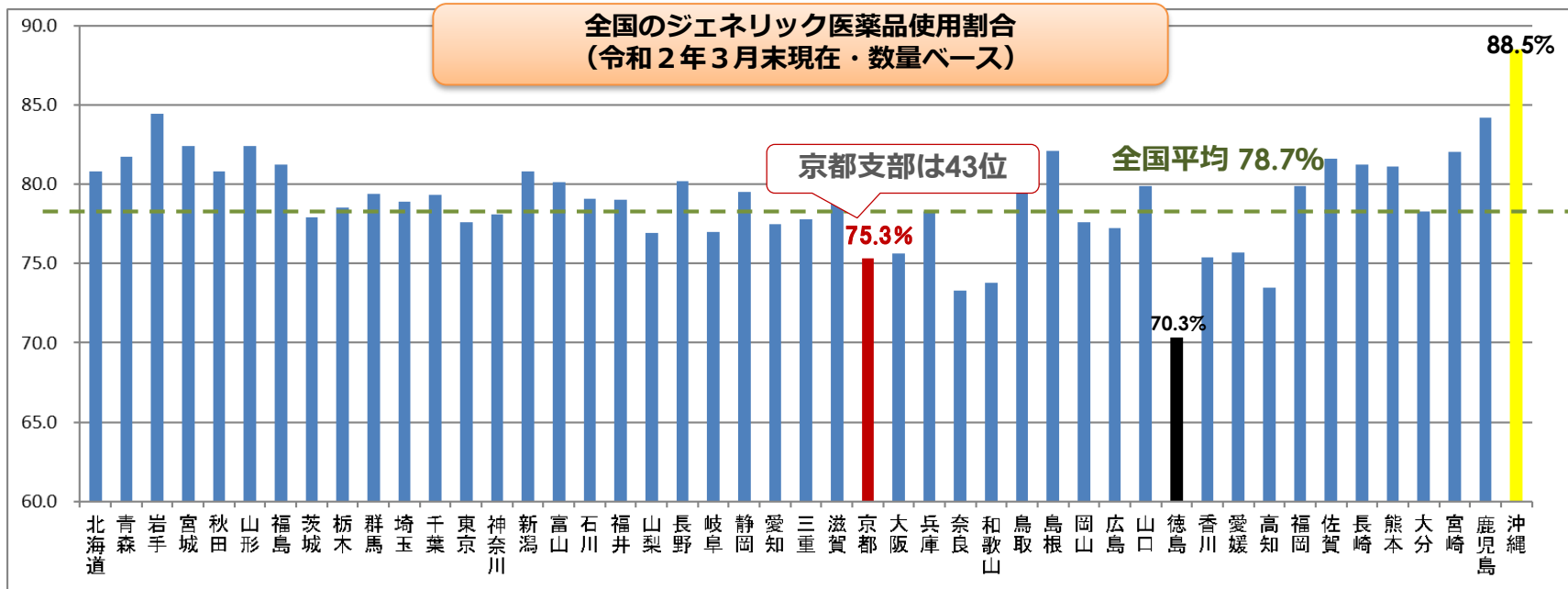
ジェネリック医薬品使用割合の推移



年齢階級別ジェネリック医薬品使用割合 （令和2年3月末現在・数量ベース）



全国のジェネリック医薬品使用割合 （令和2年3月末現在・数量ベース）



※協会けんぽ（一般分）の内科、DPC、歯科、調剤レセプトについて集計したものである。（ただし、電子レセプトに限る。）

令和元年度ジェネリック医薬品自己負担軽減額通知サービス

(1) 負担軽減通知の対象

対象年齢→令和元年8月実施分（1回目）： **18歳以上**、令和2年2月実施（2回目）： **15歳以上**

対象疾患等→慢性疾患、生活習慣病などの先発医薬品を長期間服用されている方

対象軽減額→対象診療月のレセプトを分析して、自己負担の軽減可能額が一定以上の方

・令和元年8月実施（1回目） 対象診療月・・・令和元年2、3、4月 **軽減可能額・・・医科レセプト500円以上、調剤レセプト50円以上**
 ・令和2年2月実施（2回目） 対象診療月・・・令和元年8、9、10月 **軽減可能額・・・医科レセプト500円以上、調剤レセプト50円以上**

(2) 負担軽減通知効果額

	実施年月	通知人数	切替人数	切替割合	切替1人あたりの軽減効果額/月	1か月あたりの軽減効果額①	年間軽減効果額 ①×12(推計)
京都支部	令和元年8月	約7万7千人	約2万人	26.40%	1,320円	約2千7百万円	約6億5,000万円
	令和2年2月	約6万4千人	約1万7千人	25.90%	1,662円	約2千9百万円	
全 国	令和元年8月	約357万人	約101万人	28.30%	1,301円	約13.1億円	約310億8,000万円
	令和2年2月	約300万人	約81万人	27.00%	1,578円	約12.8億円	

(3) 京都支部の年齢階層別・負担軽減別の切替率

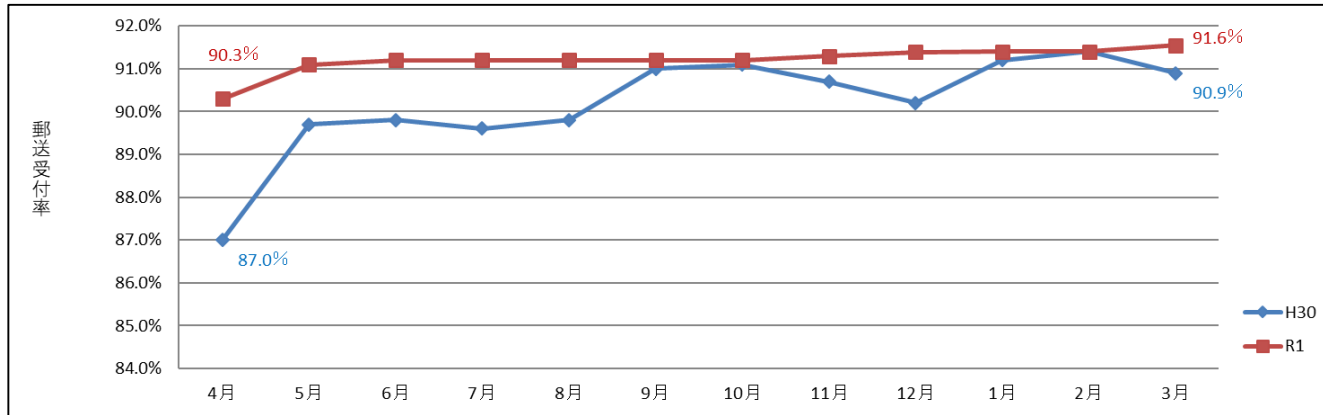
令和元年8月 実施分	50円～299円	300円～399円	400円～499円	500円～999円	1000円以上	合計
18～24歳	15.3%	20.0%	17.1%	16.1%	22.3%	17.2%
25～29歳	15.9%	16.9%	16.9%	20.0%	18.8%	17.5%
30～34歳	18.4%	16.7%	19.6%	19.0%	21.2%	18.7%
35～39歳	15.8%	18.0%	18.3%	20.3%	24.0%	18.7%
40～44歳	18.7%	20.4%	21.7%	22.9%	25.7%	21.5%
45～49歳	23.0%	21.6%	24.0%	25.1%	24.8%	23.9%
50～54歳	26.3%	25.1%	25.9%	27.5%	26.8%	26.7%
55～59歳	30.6%	29.6%	29.0%	31.2%	26.7%	29.6%
60～64歳	31.6%	33.8%	33.2%	30.9%	28.6%	30.8%
65～69歳	37.4%	34.8%	35.5%	37.0%	30.2%	34.7%
70～74歳	39.3%	33.4%	42.5%	35.9%	32.0%	36.2%
合計	25.0%	24.6%	26.9%	27.8%	27.1%	26.4%

令和2年2月 実施分	50円～299円	300円～399円	400円～499円	500円～999円	1000円以上	合計
16～19歳	14.6%	18.2%	21.3%	21.0%	24.5%	17.9%
20～24歳	16.3%	18.5%	18.7%	22.2%	24.1%	18.6%
25～29歳	17.4%	21.5%	23.1%	20.0%	19.2%	18.9%
30～34歳	18.5%	25.6%	19.7%	26.3%	22.3%	21.2%
35～39歳	19.5%	22.6%	19.3%	26.7%	23.4%	21.7%
40～44歳	21.1%	24.1%	25.6%	26.1%	25.9%	23.5%
45～49歳	23.1%	27.2%	23.0%	28.3%	25.0%	25.1%
50～54歳	26.0%	28.0%	27.2%	26.7%	26.1%	26.5%
55～59歳	28.7%	33.6%	32.5%	27.9%	25.9%	28.4%
60～64歳	29.4%	30.3%	30.2%	28.0%	26.0%	28.2%
65～69歳	30.6%	30.1%	34.4%	27.5%	27.0%	28.9%
70歳～	34.1%	30.5%	27.3%	31.9%	29.4%	31.7%
合計	24.3%	27.5%	27.0%	27.4%	26.1%	25.9%

概ね年齢が高くなるほどジェネリック医薬品に切り替えされる方の割合が多くなる傾向があります。

京都支部 郵送受付率の推移（年度比較）

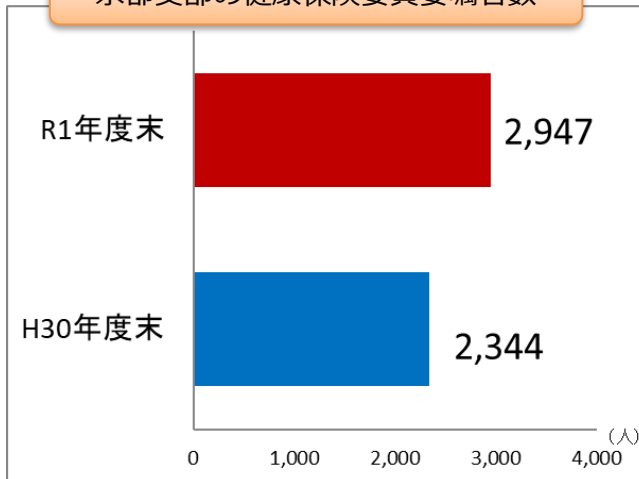
お客様の利便性向上と事務処理の迅速化を図るため申請書等の郵送による提出を促進しています。令和元年度は前年度を上回る結果となりました。



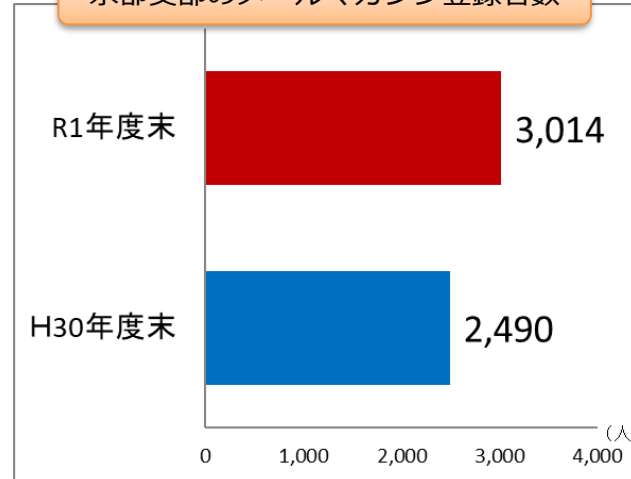
年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
H30	87.0%	89.7%	89.8%	89.6%	89.8%	91.0%	91.1%	90.7%	90.2%	91.2%	91.4%	90.9%
R1	90.3%	91.1%	91.2%	91.2%	91.2%	91.2%	91.2%	91.3%	91.4%	91.4%	91.5%	91.6%

京都支部における健康保険委員にかかる活動

京都支部の健康保険委員委嘱者数



京都支部のメールマガジン登録者数



健康保険委員とは

→広報・相談・健康保険事業の推進・モニター等にご協力いただく被保険者の方です。

〈活動強化に関する取組み（R1年度）〉

- ・健康保険委員向け研修会の開催（年2回）
- ・健康保険委員表彰
- ・健康経営推進のための活動
- ・事業所訪問による制度説明